

とき

vol.33

# 旬しゅんの人

## 松浦東高校に 感謝状！

### 長崎県立松浦東高等学校



▲岩田署長から感謝状を受ける生徒会役員



写真右から井上准一君（志佐・向町上、18）、川原光泰君（今福・恵比須町、18）、山田葉月さん（福島・浅谷、18）

ら感謝状などを受け取りました。  
岩田署長は「ぎぎが浜の清掃など、人のために何かをするということは大切なこと。そのことは、警察や市が進めている安全・安心のまちづくりの根底にあることです。それを身をもってやってくれたことに對し、感謝状を贈ります。この感謝状には、地元住民が感じている感謝の心も含まれています」と話しました。

感謝状を受け取った生徒会長の川原君は「10数年前の先輩たちから行われてきた活動に對し、地域の人にお礼を言われることはうれしいです。この活動をやってきて良かったです。卒業しても機会があればボランティア活動に参加したいです」と話していました。

市内今福町にある松浦東高等学校（山口和秀校長、生徒数137人）に9月5日、安全・安心のまちづくりに貢献したとして松浦警察署長から感謝状が贈られました。

同校では、毎年地域貢献活動として、今福保育所での読み聞かせ、今福駅の植栽活動や地域の清掃活動、地域の人と協力してぎぎが浜の清掃活動などを実施しています。

この日、松浦警察署を訪れた同校の山口校長と教諭、同校生徒会会長の川原光泰君、同副会長の井上准一君、山田葉月さんは、岩田廣文署長か

## 最高齢者に花束を贈呈

市内で最高齢者となる熊本コノさん（鷹島・中通、108歳）と、男性で最高齢者となる神田文吉さん（鷹島・三里、101歳）に9月13日、友広市長から長寿をお祝いする花束が贈られました。

熊本さんは、明治33年生まれで、若いころは農業に従事していました。現在は、長男の熊本利喜雄さんの家族と同居し、日ごろはテレビを見て過ごしています。数年前まで好んで折り紙を折っていましたが、最近ではヘルパーさんが来るのを楽しみにしています。熊本さんは「健康の秘訣は、好き嫌いなく何でも食べ



ることで」と話していました。

神田さんは、明治40年生まれで、若いころは農協長や旧鷹島町の町長を歴任。現在は今福町の「グループホームたけべ」に入所し、リハビリをしたり、入所者や同所職員との会話を楽しんだりしています。和菓子など甘いものが好きだという神田さんは「くよくよせず何事にも前向きに取り組み、お酒を楽しみ、趣味のゲートボールや散歩などで体を動かしてきたことが健康の秘訣です」と話していました。



## オリンピック選手が講演

北京オリンピックバレーボール競技に出場した本県大村市出身の朝長孝介選手が9月4日、今福中学校体育館で講演会を行いました。

朝長選手が、大村で過ごした中学時代に、同校の釜元英晃校長がコーチを務めたバレーボールの本県中学選抜チームに選ばれたこと。今回、釜元校長が監督を務める大分国体本県代表バレーボールチームに、朝長選手も参加することから講演が実現したものです。

講演の中で朝長選手は「目標を達成するためには、何事においても初心を忘れないことと、日々の過ごし方が重要です。小さな目標をクリアしていくことで、大きな目標をつかむことができ、そのプロセス（過程）が自分に残ります。指導を受けたら自分で考えて発想していくことがステップアップにつながります」と話しました。



講演後には、今福中バレー部や今福小のバレーボールチームの約30人の選手たちに実技指導を実施。選手たちは、朝長選手が打ったボールをレシーブしたり、朝長選手のトスでアタックを打ったりするなど、一流選手のボールさばきのコツや基本的なセッターの動きなど、分かりやすい指導を熱心に聞き入っていました。

指導を受けた香嶋真弥さん（今福中1年）は「大舞台に出た人に会えて緊張したけどうれしかったです。私もオリンピックのような大舞台に立てるように、一生懸命練習をしようと思います」と話していました。

